

2019年2月17日
第10回全国代表者会議

党首あいさつ

社会民主党党首
又市 征治

ご多忙の中、第10回全国代表者会議にご出席をいただき、ありがとうございます。日夜、同志の皆さんが国民生活と権利、日本の平和と民主主義を守るために奮闘いただいていることに深甚の敬意と感謝を申し上げ、社会民主党党首として、一言、ごあいさつを申し上げます。

さて皆さん、安倍政権の暴走は止まるところを知りません。アベノミクスで大企業と富裕層を肥え太らせる一方で国民の二極化、格差・貧困を拡大してやまず、また違憲立法を次々強行成立した上に今や公然と平和憲法改悪を唱え、そして民主主義の根幹を揺るがす公文書の隠蔽・改ざん、データねつ造・偽装、虚偽答弁が止まるところを知らぬなど、立憲主義・民主主義・平和主義を踏みじじる暴走続きです。ですから、野党や民主的勢力の今日的使命は、安倍政権を一日も早く打ち倒し、憲法に基づく政治を取り戻すことでしょう。

そのためには、立憲主義の回復をめざす5野党が、当面する参議院選挙に際して小異を残して大同に就き、安倍政権への政策的対抗軸を鮮明にして共闘を強化し、国民の期待に応え信頼を高めることです。すなわち、各党が共通政策に合意の上で、32の1人区で野党候補の一本化を図り、選挙区の実態に即した効果的な選挙協力を行うことであり、複数区でも可能な限り共闘を強化することです。わが党は、1人区に推薦候補を押し出すとともに、3人区以上の選挙区で公認候補の擁立を図り、併せて比例区には4名の候補を擁立して、得票率2%をクリアし選挙区・比例区合わせて3議席以上獲得することで政治転換の一翼を担う方針です。

そのため私は、党首に就任以来この1年、皆さんの協力を得て全国各地での時局講演会や街頭演説に精力的に出向いて党の「見える化」に努め、また野党共闘の接着剤の役割を担ってきました。この間、民進党の分裂で国民民主党と立憲民主党が生まれ、その関係がギクシャクしてきました。わが党の働きかけでさる1月28日、5野党1会派の党首会談が持たれ、「安倍政権打倒をめざし、32の1人区全ての選挙区において、与党を利することのないよう、速やかに候補者一本化のための調整を図る」ことに合意しました。その誠実な履行を各党に強く求めます。野党共闘が不調となれば、衆・参ダブル選挙を誘発しかねないのです。

皆さん、わが党は、社会党の時代から総評などと緊密に連携し、国民生活と権利、日本の平和と民主主義を守るため、護憲を旗印に反戦・反基地、原水禁、脱原発、反差別・人権擁護・格差是正などを掲げて闘い続けてきました。その過程で、わが党が掲げた「あらゆる国の核実験反対、反原発・脱原発、9条改憲阻止、辺野古新基地建設阻止、消費増税反対」などの主張は、当初は少数派でしたが、今やこれらの主張は国民の多数派となり、多くの政党も共有するようになりました。わが党の政策の先見性の証明であり、誇りです。

皆さん、今日、日本の社会に求められるのは、安倍政権による競争と格差拡大の新自由主義と、「戦争する国」を目指す新保守主義の政治では断じてなく、わが党が掲げる「平和・自由・平等・共生」の理念、いわば憲法の理念が実現する社会でしょう。その旗頭であるわが党が、万一これ以上後退したら、野党共闘も含め日本の政治状況はどうなるでしょうか。暗澹たる思いとともに責任を痛感します。その思いを共有しようではありませんか。

党员一人ひとりがいま何をなすべきかをしっかり見定め、各地での統一自治体選挙の勝利と、選挙区と比例区の吉田忠智、仲村未央、大椿裕子候補予定者はじめ社民党の支持拡大に起って闘い、前進を勝ち取ろうではありませんか。

この全国代表者会議は、申し上げるまでもなく今後の社民党の命運を決する大変重要な会議です。代表委員の皆さんの政治決戦勝利に向けた真摯な議論をお願い申し上げまして、党首あいさつとさせていただきます。